

次号
特集

輸血のすべて

輸血療法は日常診療で比較的多く経験しますが、貴重な血液製剤を使用し、多くの副反応・合併症に注意が必要な侵襲的治療といえます。

学生時代に学習した基礎知識や生理学は、輸血を安全に行ううえで必要不可欠です。各製剤を実際に臨床で使用していくには、エビデンスに基づいたガイドラインを熟知し、副反応とその対策を理解しておかなければなりません。また、ホスピタリストとして特殊な状況・環境での対応を求められることもあり得ます。

この特集を読むことで、輸血の基礎が理解できる、生理学とエビデンスに基づいた輸血療法が実践できる、日常診療の疑問を解決できる、「輸血のすべて」を知ることができる、そんな珠玉の一冊を目指しました。

また、厚生労働省などが発表している指針やガイドラインにとどまるのではなく、生理学やエビデンスに基づいた臨床的考察を加えることでHospitalist誌らしい内容を目指しています。

Part 1 輸血療法のすべて

第1章 総論：輸血療法の特徴

第2章 血液製剤

第3章 輸血検査

—安全な輸血療法のために

【コラム】血液型不適合妊娠

第4章 輸血副作用—診断と対処方法

Part 2 血液製剤の使用

第5章 赤血球製剤

【コラム】溶血性貧血に赤血球輸血は禁忌か？

【コラム】ヒトはどこまで貧血に耐えられるか？

第6章 血小板製剤

【コラム】血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)に血小板輸血は禁忌か？

第7章 新鮮凍結血漿

第8章 アルブミン製剤

【コラム】血漿交換

第9章 その他の血液製剤

【コラム】抗凝固薬の拮抗

【コラム】免疫グロブリン～感染症～

【コラム】免疫グロブリン

～自己免疫疾患～

Part 3 特殊な状況での輸血

第10章 大量出血～産科～

第11章 大量出血～外傷～

第12章 大量出血～手術～

【コラム】トラネキサム酸

第13章 へき地、離島、在宅での輸血

【コラム】宗教的理由による輸血拒否患者

※誌面の都合により、内容が変わることがあります。

■ Vol.1 (2013年)

No.1 ホスピタリスト宣言

No.2 感染症

■ Vol.2 (2014年)

No.1 腎疾患

No.2 膠原病

No.3 消化管疾患

No.4 緩和ケア

■ Vol.3 (2015年)

No.1 呼吸器疾患1

No.2 外来における予防医療

No.3 循環器疾患1

No.4 血液疾患

■ Vol.4 (2016年)

No.1 代謝内分泌

No.2 周術期マネジメント

No.3 腫瘍

No.4 他科の知識1

■ Vol.5 (2017年)

No.1 神経内科

No.2 呼吸器疾患2

No.3 感染症2

No.4 老年科

■ Vol.6 (2018年)

No.1 腎疾患2

No.2 糖尿病

No.3 肝胆脾

No.4 心不全

■ Vol.7 (2019年)

No.1 外来マネジメント

No.2 総合内科のための集中治療

No.3 抗血小板薬、抗凝固薬のすべて

No.4 内科エマージェンシー

■ Vol.8 (2020年)

No.1 アレルギー

No.2 画像診断①胸部・縦隔編

No.3 手技

No.4 病棟管理

■ Vol.9 (2021年)

No.1 膠原病2

No.2 内分泌疾患2

No.3 不整脈1

No.4 不整脈2

■ Vol.10 (2022年)

No.1 身体診察

No.2 脳梗塞

No.3 画像診断②脳脊髄編

No.4 感染症3

■ Vol.11 (2023年)

No.1 コママネジメント

No.2 透析診療のすべて

No.3 栄養療法

No.4 STI/HIV

■ Vol.12 (2024年)

No.1 輸血のすべて

No.2 薬物治療の質向上

『ボケジェリ』が刊行となりました。書名のサブタイトルは「高齢者診療マニュアル」としましたが、ひとことでマニュアルとは括れないようなたくさん要素が詰まった書籍です。原著では“Assessment and Approach”から“Women's Health”までのアルファベット順となっており、これを尊重しています。まずはこの目次の34項目のリストを頭に入れていただければ（最初の広告のQRコードからご覧ください）、どのような臨床現場でも大いにこの本が活躍してくれるはずです。ここでも監訳者のおまめを引いておきますが、「老年医学の根幹は、内科学、そして各専門領域を横断した総合診療にある…そこに、高齢者一人一人の尊厳を大切にする視点、高齢者特有の問題や複雑な症状を見極める洞察力、高齢者に最適な薬剤・治療法を選択する判断力が加わったのが、老年医学です」。全体を通してこのことが体得できれば、それは力強い武器になると考えます。「ボケジェリ」がちょっとした流行語になってほしいと願います。

● 広告一覧 医学書院…1038, 1045

南江堂…914

日本医事新報社…876

Vol.11 No.4 (第42号) 2024年10月1日発行

Hospitalist

(1部) 定価：本体4,600円＋税

ISBN 978-4-8157-2046-9

発行者 金子 浩平

発行所 株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36

電話：編集部 03-5804-6056 FAX：編集部 03-5804-6054

販売部 03-5804-6051 販売部 03-5804-6055

URL：http://www.medsico.jp Eメール：hospitalist@medsico.jp

振替：東京 7-28572

印刷所 横山印刷株式会社 電話03-3622-6161

広告取扱 メディカルブレーション 電話03-3814-5980

文京メディカル 電話03-3817-8036

本誌の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は(株)メディカル・サイエンス・インターナショナルが保有します。本書を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。